

Participating in Event Temples

倫理が、他人に対する義務に基づいているはずがない。生命に対する敬意を感じ、すべての生き物に同情をもち、我々の力の限りにおいて彼らを助けたいと望んだときのみ、倫理は完全で自然なものとなるのである。私はこの倫理がもっともっと認識されるだろうと思っている。なぜなら、この倫理観には「偉大な自然性」があり、我々の文化が真に倫理的になるとすれば、それは我々が奮闘すべき真のヒューマニズムに基づいているからである。

—アルバート・シュバイツァー

イベントテンプル・セッションへの参加は、真のヒューマニズムの体現の一例ですが、アルバート・シュバイツァーが言うように、最も効果を発揮する条件のひとつは、義務の感覚から参加しないことです。イベントテンプル・セッションへの参加は刺激になります。それはクオンタム・コミュニティの一部になるという新たな経験であり、マインドやスピリットといった他人のエネルギーとのシンクロがあります。私からの唯一の忠告は、義務の感覚からではなく、あなた自身のハートが納得した上で参加して欲しいということです。

私がこんなことを言う理由は、人が何かを行う場合、それはやがて機械的なプロセス—義務になってしまうからです。それは私たちの多くが子供の頃に音楽のレッスンを行った時に感じた感覚によく似ています。

シュバイツァーの言葉を、ほんの少し修正しましょう。

イベントテンプル・セッションへの参加が、他人や惑星に対する義務に基づいているはずがない。ハートとスピリットによる本物の衝動に駆られたと感じたときのみ、セッションへの参加は完全で自然なものとなるのである。

セッションへの参加はリズムがあります。ある人は、毎日の出来事かもしれませんが、またある人は月に一度かもしれませんが。これには決められた公式はありません。多ければ良いとか、少なければ悪いといった判断基準はないのです。重要なのは、あなた自身のハートとソウルの手招きによってイベントテンプル・セッションに参加することにあります。同情(慈愛)を放射したいという、あなたのハートとソウルの真の欲求を感じる事が大切です。

セッションに力を与えるのは、行動の「偉大な自然性」なのであり、それがスピリットが溶け込んでいる深い貯水池へとあなたを接続させます。そこにおいて、あなたは自分では不可能だと信じている壮大なエネルギー・パルスを放射することができるのです。

私の世界から、あなたの世界へ

ジェームズ

